園の概要　102名　3才以下 28人（2グループ）
7:00～16:00

レッジョエミリア

◎レッジョエミリアとは…　イタリアのレッジョエミリア市発祥の幼児教育実践法。
子どもの表現力やコミュニケーション能力、探求心、考える力などを養うのを目的としている。
子どもたちそれぞれの意思や個性を尊重し、個々の感性を生かすことが最も重要。
教師たちにはマニュアルはなく唯一与えられる教材は子どもたちの100の言葉という詩

☆プロジェクト活動（自主性と協調性を育む）
☆アトリエ　様々な教材・素材が常に用意（アトリエスト・ペダゴジスタ）創造性を育む　美術　教育
☆ドキュメンテーション　子どもの活動をパネルにして掲示

◎大人は子どもに教えるのではなく、共同して活動に参加することが重視

◎大人はオオカミの言葉を使っている。キリンの言葉で話してほしい
いたる所にキリンの飾り…月に1度キリンの人形を使って子どもたちに伝えている。

◎当番活動→難しい役割もあるが、役割をしっかりと果たすことで責任感の芽生え。
1日の予定→人間同士の共感が生まれる

モンテッソーリ

園の概要…　3才～18名（障がい6名）　音楽・言語セラピスト　週に1回
7:30～15:00
両親は1年間25時間の勤労奉仕が決まっている＋20ユーロ

ドイツの園の特徴

◦1日必ず1回は外に出る　◦日やけ止めは個人もち
↳カッパと長ぐつが常備（乳児先）　◦時差がない

◦朝食を園で食べる　◦保護者が協力的　◦朝が早い（遅くても5:45～）

◦時間にゆとりがあり、保育者ものんびり、ベルやかねを使って子どもを呼ぶ

「子どもたちの100の言葉」
子どもには百とおりある。子どもには百の手 百の考え 百の考え方 遊び方や話し方
いつでも百の聞き方、驚き方、愛し方 歌ったり、理解するのに百の喜び
発見するのに百の世界 発明するのに百の世界 夢見るのに百の世界がある
子どもには百のことばがある（それからもっともっともっと）しかし九十九は奪われる。
学校や文化が頭とからだをバラバラにする。
そして子どもにいう 手を使わずに考えなさい 頭を使わずにやりなさい
話さずに聞きなさい ふざけずに理解しなさい 愛したり驚いたりは
復活祭とクリスマスだけ。
そして子どもにいう 目の前にある世界を発見しなさい
そして百のうち九十九を奪ってしまう
そして子どもにいう 遊びと仕事、現実と空想、科学と創像、空と大地
道理と夢は一緒にはならないものだと。

ドイツ研修を終えて…
今回、視察させて頂いた園は、それぞれの教育理念を専門的に学んできた教育士がほとんどだったので環境設定や子どもへの声かけの仕方などが様々でした。私自身は1つの理念を専門的に学んだ経験がなかった為、各園の違い、それぞれの園の良い所を学ぶことができたと感じています。
ドイツという国だからこそ行える部分も多くあるのではないかとも思いましたが、「～だからできない」という考えはもたず、今回の研修で学ぶことができた事を自分の中に常に置いて日々の保育に活かしていきたいです。

シュタイナー

◎シュタイナー（教育）とは…（ドイツ発祥）
ルドルフ・シュタイナーが提唱、ドイツのヴァルドルフ・タバコ工場の
労働者の為に設立（ヴァルドルフ学校）がモデル→ヴァルドルフ教育とも呼ばれる。

◎七年期説…7年毎の節目を大切にしている
◦第1七年期（0～7歳）体を作り動かす時期。毎日1日の生活リズムや
周囲の大人の影響を重視。
身の回りに善があふれていると無意識に理解できるように
子どもに吸収されて良い物を身の回りにおく

☆早期の知的教育は避ける…7才で学校に入ってから学ぶことを学ぶ
それまではエネルギーを蓄える　週間/月間/年間のリズム

◎園の概要　67名、3才以下は12名、7:00～16:00
3～6才で15～18名で1グループ。未満児は12人で1グループ。
↳週1日でハイキング

◦園で朝食を食べる…安定感を与える為月～金でメニューを固定→メニューで曜日を認識
◦どんな天気でも必ず1回は外に出る　◦朝の集まりサークル（まん中にろうそく）
お話やうた、数、週間同じものを
◦室内で水彩を行うのも同じ曜日の同じ時間帯

◎導入保育…3～4週間は2人ほど親が一緒にいる。→子どもが自分から離れていく
泣いているのを無理やり離すことはない。
入園前に家に行って面談をする

◎教育は自己教育である

フレーベル

◎フレーベル教育とは…　フリードリヒ・フレーベル（幼児教育の父）が提唱、世界で最初の幼稚園
人類の欠くべからず大切な一員と認め尊敬と愛をもって
教育しようと「子どもたちの庭」→キンダーガーデンをつくる。
③がもってる命の花を咲かせるには教師が必要。
教員養成にも力を注ぐ

フレーベル教育におけるあそび…　子どもの内面の表現を引き出す道具として恩物
シンプルながらも自由に創造力を発揮できる遊び道具として
用いられている。（つみ木・毛糸玉・リング）

◎園の概要…　92名　①1～2才（小びと）②2～4才（レインボー）③4～6才（フラワー）　5:45～16:45
園舎：恩物のつみ木のまると四角と長方形、明るく低い位置から親しみやすい
☆フレーベルカラーを使っている、子どもが楽しくなる楽たくなるつくり
、木・鳥・太陽：おりもの（フレーベルもたくさんつくった）
自然は大きな意味、三角はあらゆる部分で大きな役割
◎1日1回必ず外に出る

◎恩物…○、△、□という基本的な形で作られていて、それぞれが関連しあい
遊びを膨らませていく事が可能
☆色…赤・オレ・き・みど・あお・むら→子どもの好奇心を刺激
※それぞれの発達に応じて遊びが広がっていく
球○①→立体◇②→面◇③→線△④→点⁘⑩
前の形の体験を発展させて次の形の活動につながるおもしろさを学べる